

知事と区市町村長との意見交換（神津島村）

令和1年9月19日（木）
16時55分～17時15分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 座ったままで恐縮でございますが、先だつての台風15号は本当に大変でございました。神津島の方にも立ち寄りだけではございましたが、直接村長からお話を伺うことができ、また、へりからも目の当たりにし、様々な災害、被害について拝見をしたところがあります。

今日はわざわざ、都庁の方にお越しくださいました。長期戦略を今描きつつあります。年内にビジョンを策定ということで、今回の台風の問題もそうでございますが、これからも神津島がいつまでも皆元気で、そしてまた様々な産業を進めていくにあたって、どのようなお考えなのか、また、今回の台風も1回限りではなく、今週末もまた来るそうですが、進路はよく存じておりませんが、いずれにしても島がいつまでも元気であるためのお考え等をお聞かせいただければと存じます。よろしくお願いいたします。

○**行政部長** では前田村長、ご発言をお願いいたします。

○**神津島村長** はい。東京都におかれましては、常日頃より東京島しょの行財政運営に対し、深いご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

また、小池都知事におかれましては9月の15日、都議会会期中ご多忙にも関わらず、お見舞いのためにご来島いただきまして、大変にありがたく思うと共に恐縮しておりますのでございます。

さて、東京都は都市戦略として活気溢れる多摩・島しょ、また、第1回都議会での都知事所信表明におきましては、多摩・島しょ地域の魅力と活力の向上と題して、農林水産物のブランド化や地域の魅力を活かした観光振興等について触れられており、島しょ地域住民として非常にありがたく思っておりますのでございます。

それでは時間も限られておりますので、早速ですが都の長期戦略ビジョンや長期戦略、都の施策に関連して神津島村の重要施策及び東京都に対する要望につきまして、島しょ地域における観光振興に関して4件、新清掃センター整備、農業振興に関して各意見、計6件について述べさせていただきます。

まず1点目ですが、観光客や島民の移動手段につきまして、長期に渡って減便されている航空便の回復につきまして、早期に従前の運行状況に戻れるよう、航空会社等に対し特段の配慮をお願いしたいと思います。

2点目に、島内の宿泊施設確保についてでございますが、現在、グレードの高い施設の整備につきましては補助制度がありますが、この制度を来島客宿泊施設確保のために一般の

民宿施設等にも拡充していただきたく、お願い申し上げる次第でございます。

3点目といたしまして、星空保護区認定の件につきましてですが、現在、神津島村では周年観光推進のために星空ツアーの企画、ツアーガイドの要請を手掛けておりますが、その認知度はいまだに低い状況であります。星空保護区認定につきまして、東京宝島プロジェクト事業として、都の理解と協力をいただいておりますが、申請に至るまでには相当な調査費が必要でございます。財政的支援につきまして、特段の配慮をお願いしたいと思います。

4点目に、超高速ブロードバンド安定運営及び島内公共施設等におけるキャッシュレス化についてでございます。4月の22日から5月の2日まで、光ケーブル事故により携帯や固定電話、インターネット、金融機関関係等、情報通信が遮断され、ゴールデンウィーク時と相まって関連島しょは大変な混乱をきたしました。特殊な自然環境にあり大変なこととは思いますが、安定運営につきましてよろしく願いいたします。キャッシュレス化につきましては、モデル事業を実施したいということで伺っております。その後に各島導入に向けて支援をお願いしたいと思っております。

5点目に新清掃センター整備についてでございます。この件につきましては、現段階では現況報告ということで留めておきたいと思っておりますが、平成29年度実施の入札不調以来2回目の入札、これは11月に予定しております。村が計上している予算の約1.4倍、8億円上回る27億5,000万というような見積もりに現在はなっております。村はこれ以上の予算組みは財力的に困難なところから、現施設の長寿命化についても検討しております。最終的な判断につきましては入札執行後に決定いたしますが、その際に改めて東京都にご相談に乗っていただきたいと、このように思っております。よろしく願いいたします。

6点目でございます。農業振興について、最盛期にはレザーファン、明日葉が主な生産物で2億円の生産高がありましたが、高齢化、後継者不足により現在は2,000万円、10分の1にまで下回っております。また、先般8日に襲来した台風15号の被害によりまして、今後の農業生産は益々厳しい状況にあると言わざるを得ません。このような中で神津島は新たなレモン栽培、換金作物としてレモン栽培を導入することとしております。今後の現状作物の、また、新品種の生産指導にかかる農業改良普及員等の更なる指導、支援、また、ハウス整備、畑地整備等にかかる財政的支援につきまして、特段の配慮をお願いしたいところでございます。以上6点でございます。ありがとうございました。

○知事 ありがとうございました。平成31年で人口が1,898人、高齢化率30%という数値でございますが、でも少しはお子さんも、赤ちゃんも増えてはいるんですね。

そして今何よりも先だつての台風でご苦労が多かったと思いますが、まず復旧、復興のご支援をしっかりと都としてもバックアップさせていただこうと思います。

それから職員の派遣については、村の状況を踏まえながら対応を検討して参りたいと思います。

それから観光振興でありますけれども、島々はもっと世界にPRしても良いなと思うのと

同時に、いろいろそれについての環境整備を整えなければいけないということを、私も以前から考えておるところであります。

島しょ地域で移動手段の確保というのは、これは観光客だけではなくて住民生活そのものにも繋がるということでございまして、引き続き補助等の実施で運行事業者の安定運行に取り組むということ。それから従来の運行体制を確保するように、運行事業者にも働き掛けていきたいと思っております。何よりも最近パイロット不足という話は、LCCがどんどん出来ている中で引張り合いになっていると。そういう中で、パイロットを育成するという、その根本問題も考えなければならぬかと思っておりますが、これは島のみならず国全体でそれらについての取組を進めなければ、折角のチャンスを逃してしまうということかと、このように思います。

それから島しょ地域の宿泊施設が減少しているというのも、これも本来ならばもっと観光客を呼び込める自然の美しさがあるわけですから、先ほどの美しい星空ということは、これなどは世界に向けてPRできる大切な宝物だと思います。

まさしくおっしゃいましたように、村の星空保護区の認定に向けた取組を積極的に後押しをしていきたいと思っております。そして年間通じて、島しょ地域に多くの観光客の皆さんが来られるということを進めてまいりたいと思っております。

それでは、農業とブロードバンドについて、副知事の方から。

○副知事 ブロードバンドのお話がありました。ブロードバンドは航路や航空路と並ぶ、島の生命線であるというふうに認識しております。先日も巨大台風によってケーブルの切断事故がございましたけれども、技術的に根本的に見直しまして、台風にも耐えられるケーブルの復旧を進めているところでございます。

いずれにいたしましてもソサエティ5.0という新たなIT技術を取り込んで、キャッシュレスとかテレワーク、これを島で実現していくことは島の新たな振興策に多いに、振興策となるものと思っておりますので、特に重点的に取り組んで参りたいと思っております。

それから島の農業につきまして、神津島も金目鯛で有名で、水産業は非常に島の中でも有名でございますけれども、農業についてもより振興できるように、今、レモン栽培に力を入れているというお話でございましたけど、そういった新たな作物の開発が宝島ということでございますので、こしかないうようなそういう良い作物ができれば良いと思っております。農業支援についても都としてもさらに取り組んで参りたいと思っております。よろしく願いいたします。

○知事 これ、天気の子って今人気の映画で、あれは神津島が舞台になっているんですね。島への留学生の受け入れも、毎年3名から4名受け入れておられるということで、男子寮に加えて女子寮が出来ると。

○神津島村長 今、完成しました。3名、入れるように。

○知事 皆島の生活というのは。

○神津島村長 なんか、和気あいあいとやっています。

○知事 良いですね、そういうのね。天気の子を通じて、また観光PRにも繋げられるかと

いうふうに思います。

あとは農業者は、どれぐらいおられるんですか、36人ね。それで3,000万円。ここでレモン栽培を増やしていこうという。

○神津島村長 そうですね。果物については神津島、風が強いものですから余り適さないんですけれども、ただそのレモンにつきましては加工用のレモンということで、業者の方ともぜひというような話もありまして、それでやろうということになっています。

○行政部長 何かございますでしょうか、村長。他にもし。折角の機会です。

○神津島村長 そうですね。時間は大丈夫ですか。

○行政部長 そうですね。

○神津島村長 今回の台風のことなんですけれども、平成12年にも神津島は地震災害ということがあったんですけれども、それでまたこの台風ということで、今、空き家が大変に増えておりまして、その空き家も管理されてれば良いのですけれども、もうやり放しの空き家が多くて、これが今回の被害を大きくしたのはこの空き家の例えばトタンとか飛ばされたものが住んでいる住宅に当たって、そういう被害を受けたということが主な被害が増えた原因でございます。

ですから、この空き家とか、撤去しなければならないような建物につきまして、当然これから大きな地震が起きるといわれてますから、そうして倒壊した場合に避難路が確保できなくなるという、こういうような恐れがあります。

ですから、そのようなことを避けるために、ぜひ何らかの方法で撤去できるものなら撤去したいなと考えております。

○知事 何戸ぐらい？

○神津島村長 今、15、6戸、早急に撤去しなければいけない。

○知事 所有者については明確に分かっていますか。

○神津島村長 いや、もうほとんどそうですね、分かっております。所有者がいても、いとも言うかもう、会社が持ってるものについては大きな建物が1棟、これはもう所有者が今いないような状況になっておりまして、これは撤去するだけでも何億円というような事業費が掛かってきます。それは別としても、民家の中だけでも何かそういう手立てができないかなというふうに思っております。

○知事 法律も出来てはいるんですけどね。

○神津島村長 はい。

○知事 それから先ほどの島の留学生がある意味島の、元々の島の子供達にも良い刺激になってるんでしょうかね。学力もそれによって上がってきてるという話を聞くんですけど、いかがですか。

○神津島村長 はい。まさにそのとおりでございまして、まず生徒数がもう30名を切ろうかということで、一時はその高校の存続も危ぶまれたんですけれども、現在は学力がだんだんに上がってきたということから、東京の高校に出なくても神津高校からそこそこの大学に行けるというのが実際にもう行っている生徒がいますので、そのようなことからわざわざ

ざ金掛けてなくても良いと、神津高校で3年間過ごしてもらってという親が増えました。

そこに今度は留学ですね。生徒として今9名ほどいるのかな。最高入れるのは15名まで入れるようになっておりますので、今後50名以上の高校生が活発に動いてくれるんじゃないかなと、このように思っております。

○知事 島留学は良いですね。どのような形で呼び掛けていらっしゃるんですか。

○神津島村長 東京都が、教育庁の方で全面的にバックアップしてくれてまして、東京の中学校全生徒にちらしを配布して、神津島でこのようにやっていますよということで、それで結構な子供達が興味を持ってきているということでもあります。

夏には、都内の中学3年生を対象に神津島にショートステイ、これは普通2泊3日でやるんですけども、それに応募してもらって今年は54名ありました。ただ、その54名の中から14名しか選べないということで、相当人気がある状況でございます。

また、12月に実際の応募を受け付けるわけですけども、その時にも去年は30名以上の応募がありまして、実際の枠は4名とかしかなかったんですけども、そういう状況です。当然応募者が多ければ、成績のよい生徒から来てもらえるということでもあります。はい。

○知事 じゃあ好循環で。それで今度は寮がこれで出来て、島外出身制度はホームステイ先からというけれども、男子寮、女子寮、これで何人ぐらい。男子寮で何人なんですか。

○神津島村長 男子が12名、女子が3名です。ただ女子が3名だと1学年に一人しか入れませんので、これを振り分けて何とか女子も2名にしたいなど。男子は3名いれば、一学年にね、離島留学生は。そのような考えを今持っておるところでございます。

○知事 女子寮は何人ぐらい入れるんですか。

○神津島村長 現在は、3名。

○知事 いやいや、女子寮が完成予定というふうに聞いてますけど。

○神津島村長 一応10月からは入れるということになってます。

○知事 何名ぐらい収容できる？3名？

○神津島村長 ええ。

○知事 3人しか収容できないの。

○神津島村長 そうなんです。

○知事 あらら。もったいないわね。

○神津島村長 どうしても同じ敷地内に建てないと、また別の所に建てるとその寮長だとか、いろいろな面で同じ敷地内に建ったものですから、どうしても建ぺい率の関係で3人しか入れない。

○知事 とても具体的な話になりました。ありがとうございます。島がいつまでも元気がありますように。まさしく長期のビジョンを立てていきたいと思っております。今後共よろしく申し上げます。

○行政部長 本日はありがとうございました。

○神津島村長 ありがとうございました。